



玄海原発「再稼働」弾劾!

ベトナムへの原発輸出許すな!

11/6 日比谷 1万人結集で

右翼の敵対ぶっ飛ばせ!!

10・28第3波法大包围デモ

① 原発への怒りの高まりに 怯える野田政権と右翼

11月6日、私たちが日比谷野外音楽堂で呼びかけている反原発の1万人集会をめぐって、野田政権と原発推進右翼が許しがたい敵対を始めています。集会場である日比谷野音から100mほど離れたすぐ隣の「日比谷公会堂」において、「拉致された憲法の復権 国民大集会・大行進」なるものを極右勢力が開催しようとしています。

これは、「フクシマの怒り」を先頭にした、命と未来をかけた原発反対の高まりに対する、襲撃そのものです。11月



10/27~29 福島の女性たちの
経済産業省前座り込みとデモ

11/6 もう黙ってられない! 今こそ声をあげよう!! 反原発1万人大デモへ!!

11月6日(日)正午~ @東京・日比谷野外音楽堂 (10時~ 前段企画として青年学生反原発大集会)

全学連

全日本学生自治会総連合 (斎藤郁真委員長)

TEL 050-3036-6464 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp

6日、世界にとどろく「反原発・反失業」の大集会と大デモをうち抜くのか、それともそれが、日の丸を打ち振る右翼に蹂躪されるのか。未来をかけた大勝負です。すべての学友は、怒りに燃えて日比谷に集まり右翼をぶっ飛ばそう！

この右翼「大集会」こそ、原発再稼働をもくろむ野田政権の応援団であり、野田政権の本性です。9月19日の明治公園6万人集会を起点として、反原発の闘いは日に日に拡大しています。これが、原発再稼働を阻止して稼働原発を10基に追い込む力になっています。これに憎しみを募らせる原発推進勢力は、10月末の経済産業省前での福島的女性た

ちの座り込みに右翼の黒塗り街宣車を先頭に押しかけ、「原発に反対するな！」とわめき散らす惨めな姿をさらし、撃退されました。彼らの恐怖はただ一点、「原発を止める力」が「社会を変える力」となり、「フクシマの怒り」が「青年・学生の怒り」と結びついて燃え上がっていくことです。卑劣な集会妨害・敵対をうち破る、日比谷公園への1万人大結集を絶対に実現し、原子カムラの先兵＝右翼を蹴散らそう！ここが原発反対の正念場です。



②玄海原発4号機の再稼働強行した野田政権許すな！

さらに！11月6日は、玄海原発4号機の「再稼働」を11月1日深夜に強行し、何が何でも全原発の再稼働と新規増設に突き進む野田政権を打倒する総決起集会です。

玄海原発4号機(佐賀県)は10月4日に復水器系のトラブルが発覚し、運転を停止していました。しかし、野田政権はこのまま12月に定期検査入りすることを阻止するために、突如運転再開を決定しました。しかもここにおいて、野田政権がアリバイ的に設定していた「ストレステスト(耐性評価)」すら無視して、運転再開を強行したのです。

これは、全原発が来春に定期検査入りで停止してしまう

ことへの野田政権の恐怖です。どういうデタラメな人たちであれ、「原発再稼働」を行ったという「実績」をつくるためにのみ、安全対策も何もかもお構いなく野田と電力資本は再稼働を強行しました。

この暴挙に対して、11月6日、首都を揺るがす1万人の大抗議デモを叩きつけてやろう！実力で、闘いの力で再稼働を止めよう！



③「人の命」より「金もうけ」を優先する原発輸出政策

そしていま一つ！11・6集会とデモは、原発輸出政策を再開し、世界中に原発事故と放射能汚染を拡大しようとする野田政権を徹底弾劾する闘いです。

10月31日、野田はベトナム首相との「日ベトナム共同声明」に署名し、福島第一原発事故で一時的に停止されていた原発輸出政策を再開することを宣言しました。野田は「原発の安全は保障されている」ということを強調しているが、ふざけるな！原発事故は「収束」するどころか、ますます深刻化しています。溶融した核燃料がどこにあるのかも分からず、人体への健康被害はこれから顕在化します。2日には2号

機の「再臨界(核分裂)」も明らかになり、「安全」「収束」キャンペーンは崩壊しました。

こうした事実を覆い隠し、ただひたすら「金もうけ」のための原発輸出に手を染める野



ベトナムのズン首相と握手する野田首相

田。こんな輩と私たち青年・学生は絶対にあいいれない！11・6の爆発で野田政権も吹き飛ばそう！

④世界の闘う仲間とともに、今こそ歴史を変える時！

11月6日、歴史を揺るがす大闘争をやろう！これまでは「脇役」に押し込まれてきた私たち若者が、時代の主人公になる時が来ました。右翼も原発再稼働も原発輸出にも、私たちの未来はありません。ともに闘う仲間世界にいます。

米西海岸・オークランドでは、11月2日、「占拠闘争」への襲撃と労働者虐殺に抗議して、77年ぶりの大ゼネストが闘われます。その中心で闘うILWU(国際港湾倉庫労組)の代表が、11月6日に日比谷にやってくる！韓国からも、ブラジルからも、ドイツからも、怒りを同じくする労働者・学生が続々と日比谷に結集します。11月6日・日比谷から、私たちが主役の歴史を始めよう。すべての学友は集まろう！



「オークランド占拠運動」を先頭で闘う青年たち(10月25日)